

紙藍会便り

2012年 第7号

 組合員社数：24社
 発行月：2012年3月

目次

1. 巻頭雑句『知らんかい』
2. 年末年始
3. 2月の主な出来事
4. アンケートデータ

巻頭雑句『知らんかい』

第6回

『趣味と出会い』

私の趣味は魚釣りである。

9歳から竿を握って今年で30年。初めて魚を釣った時の感触は今も手の中に残っている。

今まで沢山の魚に出会った。川のはや、フナ、コイ、アユ、池やダムブラックバス、ナマズ、ワカサギ、海のアジ、ハゼ、スズキ、チヌ、クロ、ブリ、ヒラマサ、タイ、イサキ、...

そんな魚たちと同じくらい多くの釣師とも出会った。自分の祖父や父ぐらいの「ベテラン釣師」。

私は釣り場で出会ったらま

ず挨拶をし、その方々の技を少しでも盗めないかと色々と話しかける。雑誌やネット情報などでは伝わらない実践的な感覚や過去の経験談。

そして、魚釣りに対する姿勢や精神論。時には釣った魚のおいしい食べ方など、ベテラン釣師は目を細めながらやさしく語ってくれる。

命ある生き物を相手にした釣り。私の理想は「釣れた」ではなく「釣った」である。

釣りしたい魚の習性を理解し、水中をイメージしながら集中する。気持ち落ち着かせ心を静かにし、自然の中に受け入れられた時、釣糸は走り竿が大きく曲がる。

そんな魚に出会えたときのこととは色あせることなくいつまでも記憶に残るものである。

しかし、残念ながら毎回そんな魚たちに出会える訳では無い。

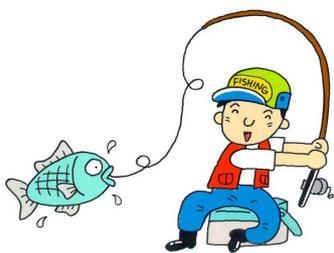
むしろ釣れない方が多いのだ。

そんな時こそ『釣れない理由』を探し、あーでもないこーでもないと大自然の大きな手のひらの中で、もがきながら魚たちに近づいていく。

まだまだ長い人生。これから先どんな魚たちに出会えるか、そしてどんな釣師と出会えるか楽しみでもある。

みなさんも『釣り』に行きませんか？

野田 勝治



出典 www.kensyokurou.ne.jp



忘年会時風景

12月・1月時定例会においては、次年度の計画内容を中心に話がおこなわれた。2011年は東日本大震災という大きな災害が発生し、経済的にも歴史的円高が続く等様々な局面がありました。

2012年、どのような局面がおきようとも対応できる会を目指し、がんばっていききたいと思えますので、今年度も紙藍会を何卒宜しくお願い致します！

2月
〜2月の主な出来事〜

中部ファイバーズクラブ来福！

2月定例会において、中部ファイバーズクラブより(株)オノセイ・河村商事(株)・グリーンメイク(株)の三社が紙藍会定例会視察をおこなった。他地区から紙藍会定例会を視察する初の機会となり、皆緊張しつつの定例会となった。定例会後はCFCの歴史や昨今の中部古紙事情など、なかなか聞く機会が無いお話をして頂き、良い勉強となった。

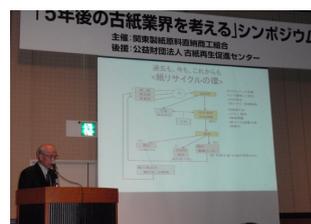
5年後の古紙業界を考える

シンポジウム開催

2月21日東京日暮里にて関東製紙原料直納商工組合主催・古紙再生促進センター後援のシンポジウムが開催された。古紙再生促進センター前専務理事鈴木節夫氏の基調講演の後、五人のパネリストによる意見交換会という流れであった。古紙問屋からのパネリスト参加者は栗原紙材株式会社(関東)と株式会社寺松商店(九州)の二社が参加となっていた。大きな会場であったが業界内外から多くの方が参加され満員であり賑わったシンポジウムであった。



講演会風景 (中央CFC安井会長)



鈴木節夫氏基調講演

リサイクルアドバイザー試験開催

古紙リサイクルアドバイザー講習・試験が九州地区においておこなわれた。講習後に試験という流れであったが、リサイクルに関する基本知識から応用問題まで幅広く出題され、皆いつも以上に真剣に試験へ取りくむ姿がみられた。

特製ボックスティッシュ完成！

昨年より企画していた紙藍会特製ボックスティッシュが2月に完成となった。完成後各会員様へ配布しておりますのでリサイクル広報活動等でご利用いただければ幸いです。



講習前風景



特製ボックスティッシュ

10月・11月・12月 バラ物数量対前月・前年推移データ (平均値記載)

(単位%)	段ボール			新聞			雑誌		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月
対前月	101.24	98.35	109.87	97.88	95.29	118.87	98.0	93.35	128.4
対前年	100.69	101.08	101.27	100.12	91.0	103.0	101.53	91.94	105.4

詳細なアンケートデータは紙藍会定例会時に配布しています。